

【調査概要】

調査エリア:全国

調査対象者:「シュフーポイント」会員(10代から60代までの男女)

サンプル数:57,865

※女性 43,889名、男性 13,976名

調査期間:2017年9月16日から18日まで

調査方法:インターネットリサーチ

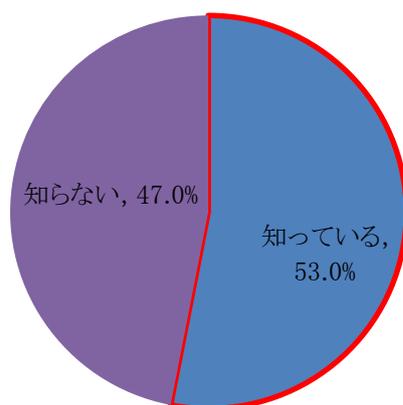
*本ニュースリリースに含まれる調査結果をご掲載頂く際は、必ず Shufoo!ロゴと併せて「凸版印刷株式会社『Shufoo!』調べ」と明記下さい。

【調査結果】

Q. 10月に、食用油、宅配便など商品・サービスの値上げがあることを知っていますか？

まず、10月に商品・サービスの値上げがあることに関して聞いてみたところ、値上げがあることを「知っている」のは全体で約半数にあたる53%、「知らない」人は47%と、ほぼ同じ割合であることが分かりました。

単一回答 n=57,865

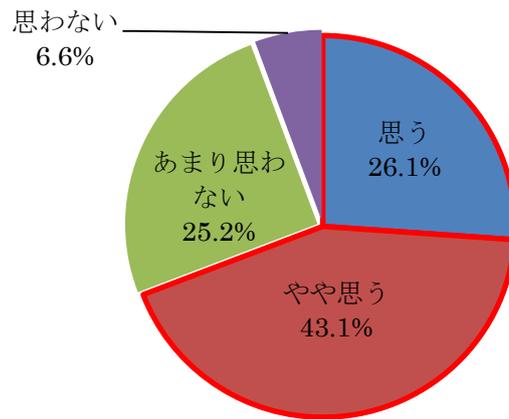


Shufoo! 

Q. 商品・サービスの値上げを受けて、商品の衝動買いをする機会は減ると思いますか。

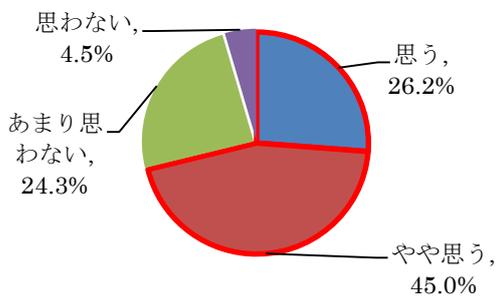
また、商品・サービスの値上げを受けて商品の衝動買いをする機会が減ると「思う」「やや思う」と感じている人は69%いることが分かりました。今後の消費行動において、商品を購入する際に慎重になる人が増加することが見込めます。

単一回答 n=57,865

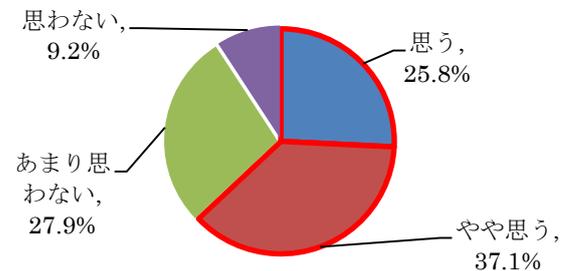


さらに、男女別で比較すると、女性の71.2%が商品の衝動買いをする機会が減ると「思う」「やや思う」と答えたのに対し、男性は62.9%という結果となり、8.3%の開きがありました。この結果から、女性の方が男性よりも衝動買いに対して慎重に考える傾向があると言えます。

女性 (n=43,889)

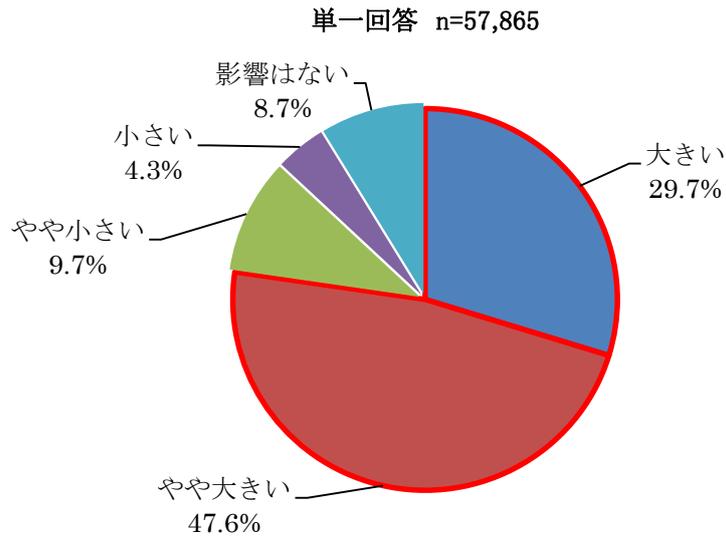


男性 (n=13,976)



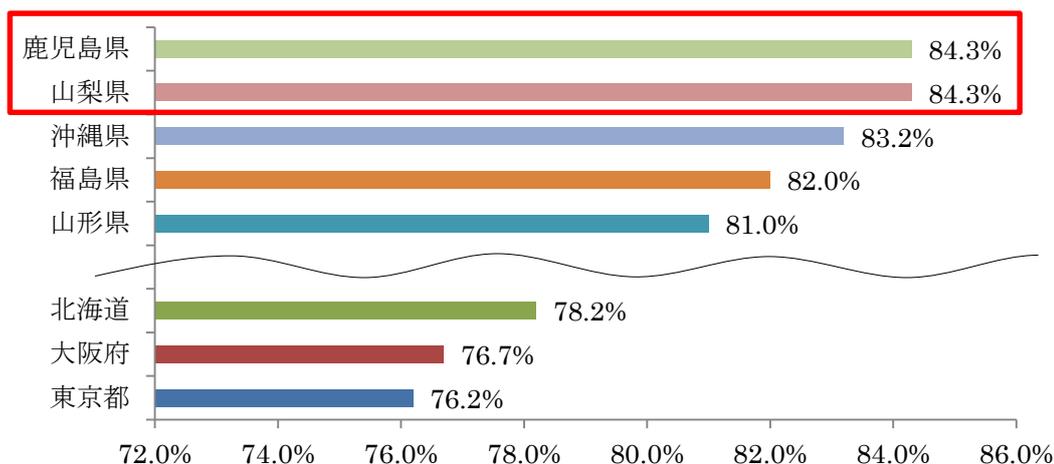
Q. 商品・サービスの値上げによる、節約意識への影響度合いについて、あてはまるものをお選びください
次に、商品・サービスの値上げによる、節約意識への影響度合いについて聞いてみたところ、影響が「大き

い」「やや大きい」と答えた方は 77%にのぼり、今後の節約に対する意識が高まっていることがわかりました。



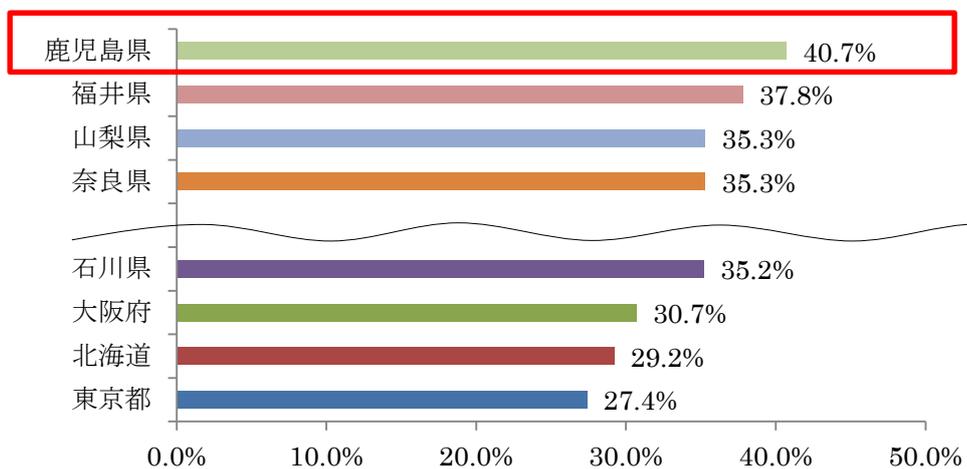
さらに、都道府県別で比較すると、「思う」「やや思う」と回答したのは、東京都や大阪府を押さえて、**鹿児島県と山梨県在住の方が最も多く、84.3%**という結果となりました。東京都は 47 都道府県の中では 76.2%で 39 位、大阪府は 76.7%で 36 位と、節約に対して意識の変化は低い結果となりました。

【都道府県別】商品・サービスの値上げによる、節約意識への影響度合いについて、あてはまるものをお選びください。(単一回答 n = 57,865)



また、商品・サービスの値上げを受けて、値切る機会は増えると思いますが、という質問に対して都道府県別で比較すると、「思う」「やや思う」と回答したのは鹿児島県在住の方が最も多く、40.7%という結果となりました。また、大阪府は30.7%で32位と意外にも低い結果となりました。東京都は47都道府県の中では27.4%で46位という結果となっており、値切ることに対してはかなり後ろ向きな結果となったことがわかりました。

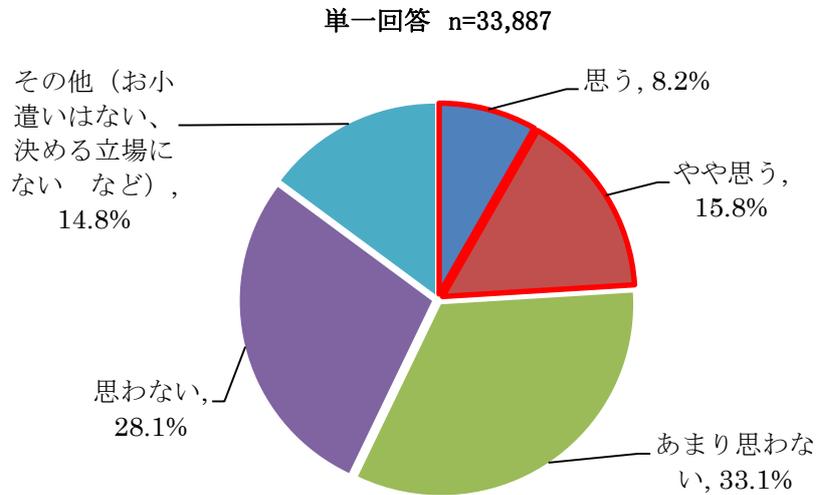
【都道府県別】商品・サービスの値上げを受けて、値切る機会は増えると思いますか。(単一回答 n = 57,865)



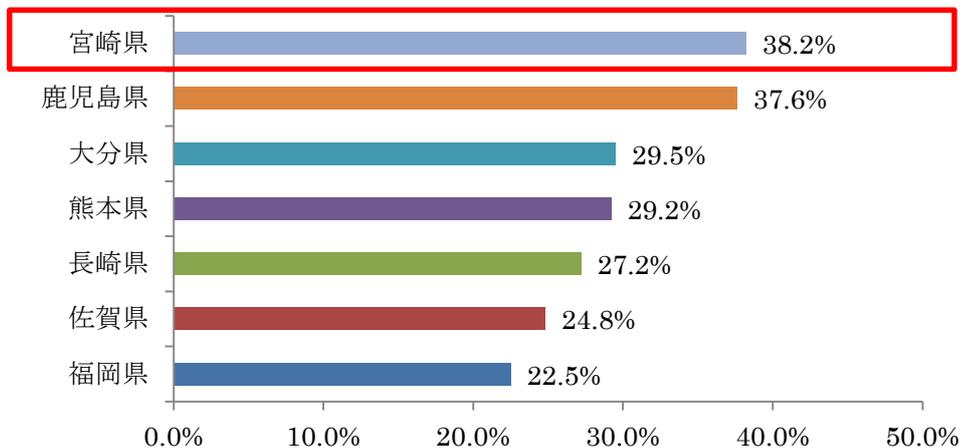
結果、全国47都道府県中、一番節約意識が高く値上がりがあった際に値切りに意欲的なのは「鹿児島県民」だということがわかりました。

Q. 今後商品・サービスが値上がりする場合、ご主人のお小遣いを減らそうと思いませんか。

商品・サービスの値上がりを受けて、ご主人のお小遣いを減らそうと「思う」「やや思う」と回答したのは、全体の24%に対し九州エリアは29.9%と全国エリアで一番高い結果になりました。特に、宮崎県の既婚女性が最も多く38.2%、次に鹿児島県が37.6%という結果になりました。



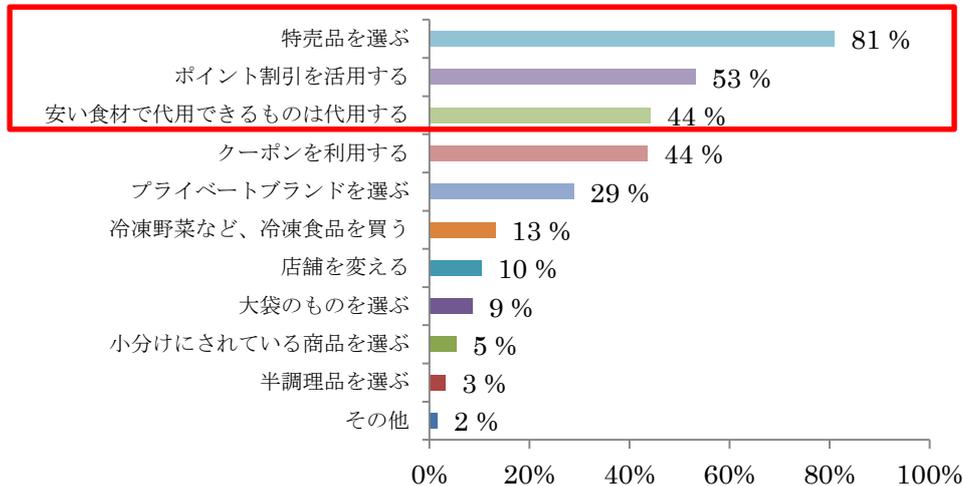
【九州エリア】今後商品・サービスが値上がりする場合、ご主人のお小遣いを減らそうと思いませんか。(単一回答 n = 2,294)



Q. 商品・サービスの値上げを受けて、節約の為に改めて意識することはどのようなことですか。

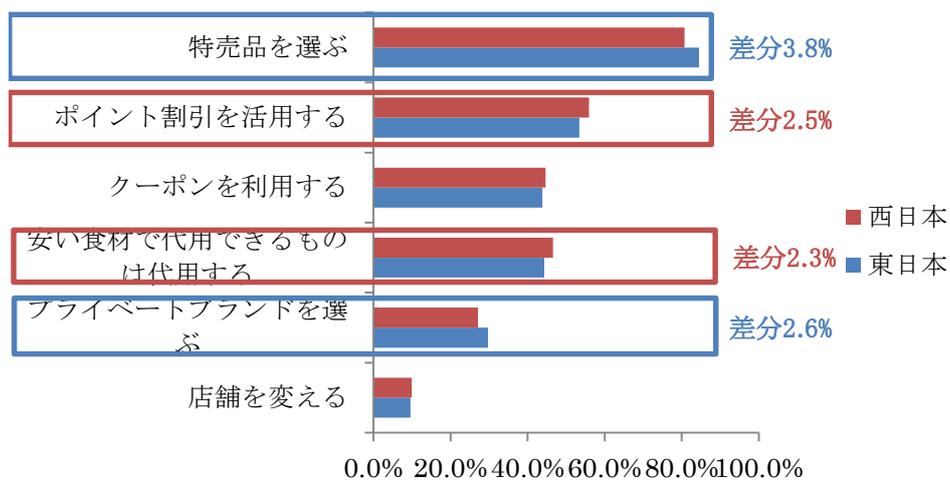
続いて、商品・サービスの値上げを受けて、節約の為に改めて意識することに関しては、最も多いものから順に、「特売品を選ぶ」「ポイント割引を活用する」「安い食材で代用できるものは代用する」「クーポンを利用する」ことが最も多い結果となりました。

複数回答 n = 57,865



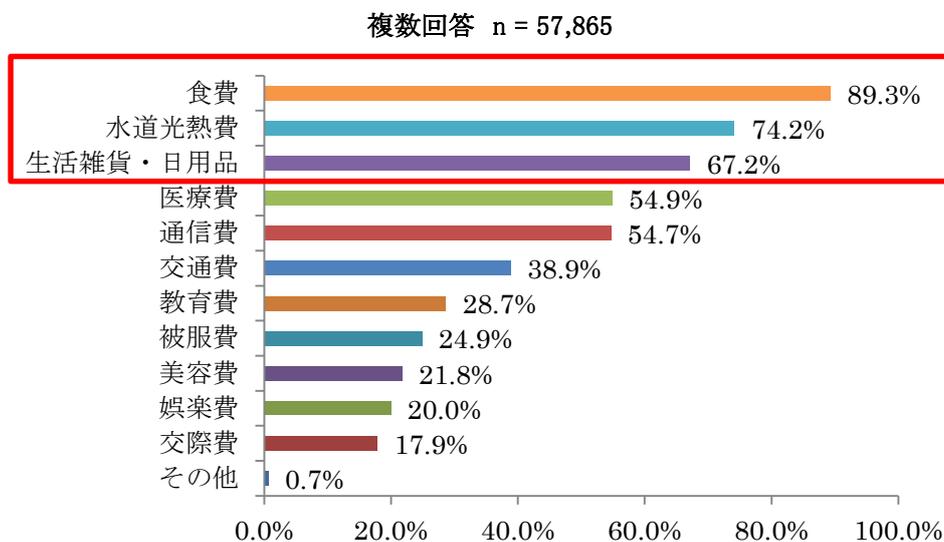
また、東西エリアによって食費を節約するポイントについても違いが見られ、東日本エリアだと「特売品とプライベートブランド商品を選ぶ」、西日本エリアだと「ポイント割引の活用と安い食材の代用、クーポンの利用」と、食費節約方法にも違いが見られました。

単一回答 n = 57,865



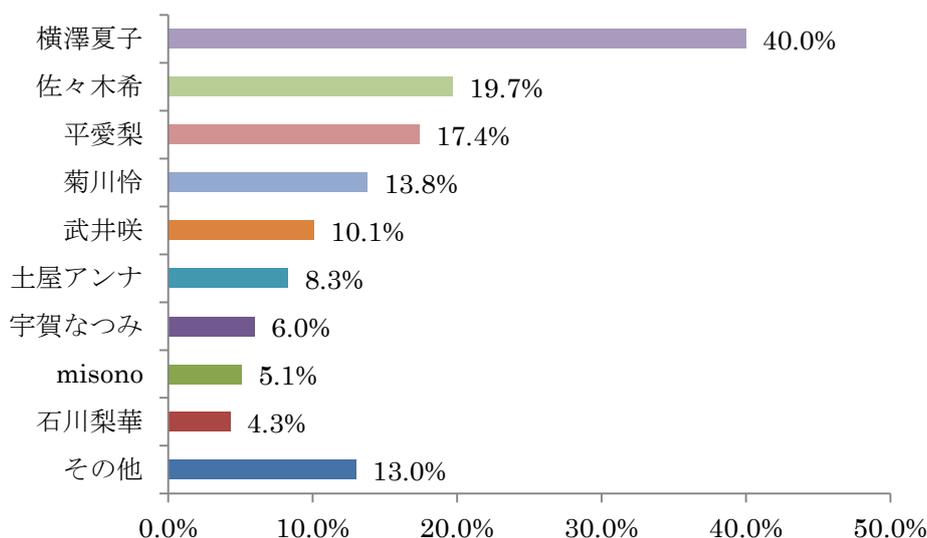
Q. 今後値上がりするとつらいと感じる費用はなんですか。

今後値上がりするとつらいと感じる費用について聞いたところ、「食費」「水道光熱費」「生活雑貨・日用品」「医療費」「通信費」の順で回答が多い結果となりました。



Q. 今年結婚関連の話題が取りざたされた芸能人で、節約上手になりそうな方はどなたでしょうか。

最後に、今年2017年に結婚関連の話題が取りざたされた芸能人で、節約上手になりそうな方を聞いてみると、横澤夏子さんが全体の回答の40%を占める結果となりました。次いで佐々木希さん(19.7%)、平愛梨さん(17.4%)という順で回答が多い結果となりました。



* 本ニュースリリースに記載している会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。
* ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以上